

一般質問発言通告表

向日市議会 令和7年第4回定例会

令和7年12月4日

質問順	会 派 名 氏	質 問 事 項 (要 旨)
1	公明党議員団 福田 正 人	1 学校給食について 2 高齢者支援について
2	MUKOクラブ 近 藤 宏 和	1 人と動物が共生する社会の実現について 2 公共交通の維持に向けて 3 不登校児童・生徒への支援とフリースクールとの連携について
3	明日の向日 林 リ エ	1 「竹の径・かぐやの夕べ」と観光政策について 2 実効性のある防災対策について
4	日本共産党議員団 米 重 健 男	1 高市政権の平和主義への挑戦について 2 京都アリーナ（仮称）について 3 ごみの回収について
5	日本維新の会 無所属の会 青 山 まゆみ	1 障がい者事業について
6	自 民 ク ラ ブ 上 田 雅	1 公共施設の再生可能エネルギーについて 2 地籍調査について
7	明日の向日 杉 谷 伸 夫	1 アリーナ整備に関わる福祉会館前交差点の改良について 2 不登校のこども、保護者への支援について 3 古紙類の回収率向上にむけた取り組みについて
8	日本共産党議員団 北 林 智 子	1 本市の小中学校の運営について 2 こども誰でも通園制度について 3 来年4月から実施される給食無償化などについて
9	日本維新の会 無所属の会 松 本 みゆき	1 職員の働き方改革と業務効率の向上について 2 竹林の環境整備について
10	自 民 ク ラ ブ 天 野 俊 宏	1 ハラスメントに関する条例制定について

1 1	日本共産党議員団 丹 野 直 次	1 物価高から暮らしを応援する対策について 2 新寺戸公民館に調理室などを作ることにについて 3 ぐるっとむこうバスのさらなる充実について
1 2	日本維新の会 無所属の会 村 田 光 隆	1 人生１００年時代に向けて 2 高次脳機能障害者への支援について
1 3	日本維新の会 無所属の会 長谷川 愛	1 自転車交通ルール変更に伴う向日市の道路環境と安全対策について 2 ぐるっとむこうバスの介助が必要な方と乗車の支援について

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田 正人	所属会派名	公明党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1 学校給食について	<p>① 物価高騰の中、給食材料の高騰も同様である。食材費は保護者負担であるが、食材高騰の状況の中、国の、学校給食摂取基準と比較し、本市の各種栄養の数値はどのようになっているのか。</p> <p>② 本市において食材高騰の中、給食費について今後の見通しと支援について伺う。</p> <p>③ 学校給食用の米の価格が懸念される。国は令和8年度より、給食無償化を実施するとしているが、予算規模は約5000億円で、予定通り実施できないことも予想される。そこで以下伺う。</p> <p>ア 4月のスタート時点で、国の支援がなければ米飯の回数を減らす考えはあるのか。</p> <p>イ 給食費を値上げされる考えはあるのか。</p> <p>ウ おかずやデザートを減らすのか、又は内容を変更されるのか。</p> <p>エ 米の質、または産地を変更されるのか。</p> <p>オ 学校給食会以外で米を調達することもあるのか。</p> <p>④ 給食食材高騰の中、献立において栄養摂取基準を満たさなければならない課題を抱えている。栄養教諭・栄養士・調理員の創意工夫だけでは対応が難しい。</p> <p>ア そこで本市の栄養教諭の配置状況はどのようになっているのか伺う。</p> <p>イ 食材高騰の今、業務の内容について伺う。</p> <p>⑤ 食材高騰に対応したメニューの開発への取組の状況は如何なものか。硬い食材は顎の強化が図られ、反射神経や集中力・記憶力・判断力が向上するとされている。こうした内容になっているのか。</p> <p>⑥ 食育の観点から児童生徒にどのように、この物価高騰や米価格の高騰を伝えられているのかを伺う。</p>		

2 高齢者支援について

団塊の世代を含む高齢者は、戦後の復興と共に成長し、その後日本の経済成長を支えてこられた。そうした高齢者への感謝の気持ちを忘れてはならない。そこで以下の質問を行う。

① 敬老会について伺う。

昨年敬老会の参加人数は、対象者約12000人の中、わずか835人であり、約7%にも満たない状況である。何故、敬老会の参加者はこれほど少ないのか。以下の点から伺う。

ア 一人暮らしの方への対応について

イ 足腰の悪い方への対応について

ウ その他の課題について

エ 参加品の内容の考えについて

② 地球温暖化・異常気象により、今年は梅雨明けが早く、猛暑・酷暑日が多く発生し、熱帯夜も記録敵な多さが特徴となった。本市において、低所得高齢者でエアコンのない世帯がある。熱中症は家での事例も多く、スーパーや公共施設で暑さをしのいでいると聞いているが、夜間に家の中で体調不良になることが心配される。そこで本市が行っているゼロカーボン推進補助金交付事業に、エアコンのない高齢低所得者へのエアコン購入と設置費の補助支援を行うことができないかを伺う。

一般質問通告書（分割）

質問者氏名	近藤 宏和	所属会派名	MUKO クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 人と動物が共生する社会の実現について	<p>日本では、犬猫合わせて 1,595 万頭以上が飼育されており、少子高齢化社会の中でペットは「家族の一員」としての役割を強めている。より選ばれるまち向日市になるためには、人と動物が共生できる環境整備について議論し、少しずつ進めていく必要がある。</p> <p>① 緑地や公園をペットと共生できる空間として整備する必要性について本市の見解を伺う。</p> <p>② 本市におきましても令和 6 年 9 月の広報誌において、動物愛護週間にあわせて、ペットのマナー等について啓発されておりますが、より一層の周知に向けた取組みとして、動物との共生社会に向けて向日市が考える公共空間での正しいマナーを楽しく学べるイベントを実施されてはどうか。</p> <p>③ 「ペット同行避難についてみんなで考えよう！」のチラシを作成、配布する等、環境省のガイドラインに基づいた啓発を行っていく必要性について。</p> <p>④ 避難所の受け入れ体制の整備において、インスタントハウス（段ボール）の備蓄なども必要。本市の見解を伺う。</p> <p>⑤ 2022 年 6 月 1 日から犬・猫を販売する業者に対して、ペットのマイクロチップの装着及び登録が義務となったが、本市での普及率は。また、普及率についての見解を伺う。</p>		
2. 公共交通の維持に向けて	<p>様々な公共交通を取り巻く環境は厳しさが増しており、全国で民間バスの廃便や減便が続いている。このような状況で、「ぐるっとむこうバス」への期待が高くなっている。今後も継続的に施策を取り組んでいくために、利用者などの目標値について議論を始める必要がある。</p>		

<p>2. 公共交通の維持に向けて</p>	<p>① これまで、取り組まれてきた利用促進策について伺う。</p> <p>② 「ぐるっとむこうバス」の利用者など目標値について、今後取り組んでいかれる予定はあるのか伺う。</p>
<p>3. 不登校児童・生徒への支援とフリースクールとの連携について</p>	<p>小中学校の不登校の問題について、これまで本市教育委員会におかれましては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充、校内別室での学習支援、教育支援センター「ひまわり広場」の充実など、学校現場の実情に応じたきめ細やかな支援を進めていることについては、十分に把握している。また、その支援によって、多くの児童生徒が学校や他機関とつながり、学校や教室への復帰など、それぞれに応じた学びの確保等ができていたとの話も聞いている。しかしながら、学校現場の負担や複雑化する子ども・家庭の課題を踏まえ、不登校児童・生徒やその家族への支援については、常にアップデートしながら取り組んでいくことが必要である。</p> <p>① 全国的に不登校が増加している現状を踏まえ、本市の不登校児童・生徒への取組みについて、現在どのような課題認識を持っているのか。本市の見解を伺う。</p> <p>② 近年、保護者の介護離職ならぬ不登校離職の声も聞こえてきてくる。不登校児童・生徒やその保護者などの当事者が引きこもり状態にならないよう、一歩でも外に踏み出そうと思えるための選択肢は複数ある方が望ましいと考えます。そのため、学校内や教育支援センター「ひまわり広場」に加えて、学校外にあるフリースクールとの連携も重要であると考えます。そこで、向日市外にあるフリースクールでも連携は可能なのか。また、現在のフリースクールとの連携状況を伺う。</p>

傍聴者資料（分割）

質問者氏名	林 リエ	所属会派名	明日の向日
<p>表題 1</p> <p>「竹の径・かぐやの夕べ」と観光政策について</p>	<p>向日市を代表する景観資源である「竹の径」は、全国的にも評価の高い場所です。</p> <p>当時から市民の皆さんの熱心な保全活動と、行政の支援が重なり、美しい景観が守られてきました。現在では市が主導で竹林ボランティアを募り取り組まれていることは高く評価しております。</p> <p>24 年間続く「かぐやの夕べ」も、市民が主体的に育ててくださったイベントであり今や向日市のブランドそのものです。「竹の径・かぐやの夕べ」をもっと素敵取り組みにするために下記質問させていただきます。</p> <p>●質問 1：観光指標が大幅に低下した原因は？</p> <p>令和 5 年度よりさらに減少しています。具体的にどの要因が最も大きいのか、また現在の「竹の径・かぐやの夕べ」を今後どの様に盛り上げていくのかをお聞かせ下さい。</p> <p>●質問 2：かぐや姫役が“消えた”理由について</p> <p>かぐや姫が居なくなった経緯を明確に示してください。</p> <p>●質問 3：市民参加型「かぐや姫オーディション」を復活できないか</p> <p>以前は実施されていた取り組みです。観光振興の観点から、毎年“市民から選ばれるかぐや姫”を登場させる案に対し市の見解を伺います。</p>		
<p>表題 2</p> <p>実効性のある防災対策について</p>	<p>第 3 次ふるさと向日市創生計画では（令和 7 年から令和 11 年目標）・自助・共助・公助の強化・避難所運営体制の充実・自主防災組織の支援により災害対応能力向上が基本方向として記されています。また本市の地域防災計画では「災害に即応できるひとづくり」が重要であり、そこには（知識、助け合い、役割遂行、状況判断、危機意識、率先行動）ができる人物を人創りとして遂行すると記されています。平時に出来ないことは有事にもできません。</p> <p>本市が掲げた目標を達成するために下記質問させていただきます。</p> <p>●質問 1：避難所開設と鍵の配置について</p> <p>前回の一般質問で進展した、大規模災害時に指定避難所である体育館の鍵を、市役所以外の場所にも置くことはリスク分散の基本です。しかし、開設には必要な点検項目があり、区事務所に鍵を置いてただけでは避難所開設はできません。令和 5 年第 1 回定例会での市の答弁の中で「実際に災害が発生した直後、避難所に職員がすぐに駆けつけることができないため、地域の住民の皆様で避難所の開設を行っていただ</p>		

<p>表題 2</p> <p>実効性のある防災対策について</p>	<p>く必要があります。」とはっきり明言されています。市は、市民のみで避難所開設ができる体制に整える責務があり、年に一度しかない避難訓練では、より具体的な訓練と共に開設方法を数名の責任者に研修する必要があるのではないかと考えます。下記質問いたします。</p> <p>1－1・市内在住職員で「避難所開設訓練」を受講している人数は？</p> <p>1－2・区事務所職員への「初動点検研修」を実施する計画はあるか</p> <p>1－3・区事務所職員以外に、どの市民に研修が必要と考えるか？</p> <p>●質問 2：市民防災士のスキルアップと協働を目指して</p> <p>現在本市には、消防団員以外の市民防災士だけでも 80 名程いらっしゃると認識しております。折角向日市の防災に寄与したいと志高く受験された市民防災士の方々に、もっと活躍してもらう場が必要ではないかと考えますが市の見解をお聞かせください。</p> <p>●質問 3：自治会加入率低下と自主防災組織・危機管理について</p> <p>令和 6 年度のふるさと創生計画進捗状況評価では、自主防災組織 A 評価（計画通りに進んでいる）自治会加入率は B 評価（計画より遅れている）とありました。現在では市民の約半数が自治会未加入という現状です。寺戸地区・上植野地区に関しては加入率が 30% 台と減少。また若い世代や転入者だけに留まらず、今まで自治会で活動されてきた高齢者の脱退も増えていると伺っております。本市の加入率低下の流れはこのまま何もしなければ止めることが出来ません。今後、大規模災害が発災するといわれている中での加入率低下は、防災力低下、支え合いの弱体化、高齢者・子育て世帯への情報遅延、新旧住民の分断を引き起こします。また本市として、自治振興補助金を 8 行政区に分配していますが、未加入者の市民には、様々な情報が行き届かなくなっているのも現状です。また転入者が自治会に加入したいと思っても、既に自治会がなかったという声も聞こえてきます。そこで下記 2 点伺います。</p> <p>3－1：自治会・自主防災組織がない地域の防災について</p> <p>共助が丸ごと欠けた地域で、市は住民の命をどう守るのか？具体策を伺います。</p> <p>3－2：自治会加入を促進するための新しいアプローチ（デジタル化・アプリ化など）について</p> <p>全国の自治体では市が協定を結び自治会アプリ導入・キャッシュレス会費徴収・LINE オープンチャット型の共助・マンション管理組合との連携支援など、次世代型の自治会支援が進みつつあります。向日市として、今後自治会をどの様に位置付けていくのか方向性を伺います。</p>
-----------------------------------	---

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重 健男	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1, 高市政権の平和主義への挑戦について	<p>高市政権は防衛費 GDP 比 2 % への増額を前倒しし、安保三文書に着手した。非核三原則の見直しの検討を始めるなど、平和主義国家としての国是を変えようとしている。台湾有事について、自らの発言により外交的な危機を招いていることを口実として軍事力の増強を進める行いは、平和主義とは相いれない。本市は姉妹・友好交流都市としてアメリカ・サラトガ市、中国・杭州市と盟約及び協議書を交わしている。台湾問題についてはアメリカ・中国いずれの実力行使によらず、台湾住民の自由に表明された民意を尊重し、平和的に解決されるべきではないか。本市では平和都市として令和 6 年度には「世界平和都市宣言 40 周年記念事業」を、令和 7 年度には「被爆 80 年平和祈念事業」を行われている。非核・平和の市長として見解をお伺いする。</p>		
2, 京都アリーナ（仮称）について	<p>近隣にお住まいの方が連名で京都府及び向日市に質問と要望を提出されたとお伺いしている。質問や要望について市としてどのような対応を行うのか伺う。この間、京都府からの回答は住民の理解を得られているとは言い難いものと感じる。まちづくり特別委員会として競輪場現地視察を行ったところであり、本市都市計画審議会においては競輪場の地区計画変更が審議されたところでもある。この間のやり取りで府の説明において、問題を感じた点について、市において対応を求めるものである。</p> <p>1, 交通手段について</p> <p>本市の道路網において競輪場に向かう幹線道路への短時間での 1000 台弱の流入が生じた際に引き起こされる交通状況はどのようなものか伺う。</p> <p>2, 向日町会館について</p> <p>改めて京都府に対して向日町会館の機能を存続するよう要望していただきたいがいかがか。</p>		

	<p>3, 近隣住民からの質問と要望について</p> <p>近隣住民の方からは質問や要望をされたとお聞きしている。</p> <p>1, 市長への質問 3 項目</p> <p>2, 京都府への要望 4 項目</p> <p>3, 京都府及び向日市への要望 4 項目</p> <p>4, 施設営業開始後の周辺道路について要望 3 項目</p> <p>5, 工事中、営業開始後に改善が図られない際の、相当条件での補償の約束</p> <p>市長への質問について見解を伺う。また、要望事項については府へ要望していただきたいがどうか。</p>
3, ごみの回収について	<p>本市ではゼロカーボン宣言の下、2030 年までに 50 % の CO₂ の削減を目標にかかげ、その一環として、ごみの削減に取り組まれている。市民からの要望の強い項目について伺う。</p> <p>1, 資源ごみの戸別収集について</p> <p>昨年の第 3 回定例会において、「向日市廃棄物減量等推進審議会における検討案件として、本市にとって望ましい収集方法について検討」をしているとの答弁があったが、進捗状況を伺う。</p> <p>2, その他プラスチックの回収拠点での受け入れについて</p> <p>その他プラスチックを 24 時間回収ステーションで受け入れて欲しいという要望が市民からたびたび出ている。24 時間ステーションでの受け入れの可否、また、課題について伺う。</p> <p>3, ごみ袋の取手について</p> <p>450・70 には取手はあるが 300・150 にはない。なしの場合、握力の弱い方などでは袋の口を縛りにくいという。300・150 のごみ袋にも取手を付けて欲しいという要望があるがどうか。</p> <p>4, 資源ごみの年末年始の収集日を増やすことについて</p> <p>資源ごみの収集について年始年末の期間の収集日を増やして欲しいとの要望がある。年末年始は大掃除などの影響により資源ごみも増えやすいとの事である。特に第 1・3 曜日収集地区においては収集日が早いことから特別収集日設けて頂いているが、その他プラのみの収集となっている。年始年末の収集日を増やしていただきたいがいかかがか。</p>

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	青山まゆみ	所属会派名	日本維新の会・無所属の会
表 題	質問事項（質問の要旨）		
障がい者事業について	<p>（質問の要旨）</p> <p>障がい者事業には多様な課題が上がっています。課題に対応する為には国や自治体による制度改革、事業所による経営改善の取り組み、地域全体でのネットワークの構築が不可欠と言われています。これらを基に質問させていただきます。</p> <p>質問① 乙訓圏域障害自立支援協議会からは障害者や難病患者の自立や社会参加に向けて本市にどのような提案がありましたか伺います。</p> <p>質問② 本市では移動支援費が年々減少すると考えられるならインクルーシブ教育の推進を考慮し障害児の登下校のサポート支援を行うことは可能でしょうか。伺います。</p> <p>質問③ 現状の就労支援の本市の課題は何ですか。利用者側の課題と支援事業側の課題の両面を伺います。</p> <p>質問④ 就労選択支援が創設されていますが本市の実施主体の事業者は何件ぐらいと把握されていますか。また今後実施主体事業者はどれくらい必要になるかも伺います。</p> <p>質問⑤ 障害者への合理的配慮ですがどのような事案が課題か、それに対してどう解決に繋げていくのかお考えを伺います。</p>		

一般質問通告書 (総括・分割)

質問者氏名	上田 雅	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 公共施設の再生可能エネルギーについて	公共施設の省エネ化や再生可能エネルギーの導入について伺う。		
2. 地籍調査について	向日市の地籍調査事業の状況と今後について伺う。		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派名	明日の向日
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. アリーナ整備に関わる 福祉会館前交差点の改良について	<p>アリーナ開業に間に合うことを目指し、必ず実現してもらおうと市長が表明した「福祉会館前交差点と消防署前交差点、絶対にあそこを人が渡るようなことがないよう」な改良は可能か？ また交差点の改良が無いままのアリーナ開業はあるのか？</p> <p>（１）本当に可能か？ あの交差点周辺は、今のままでは、アリーナ開業時に来場者が歩道に溢れて車道にもはみ出すなど、危険きわまりない状態になります。交差点に溢れる人々が危険だし、交通渋滞に拍車をかけます。福祉会館前交差点と消防署前交差点の改良は超重要な課題です。</p> <p>一方で、あの交差点を歩いて渡らないようにする改良とは、具体的にどのような構造なのか。それは果たして可能なのか。</p> <p>（２）交差点改良せずに、アリーナ開業は無いか？ 市長は「必ずやらしてもらわなければならない。」と明言されました。この改良が実現せず、交差点周辺の危険が解消されないままでのアリーナ開業は認められないと思いますが、市長の考えはどうか。</p>		
2. 不登校のこども、保護者への支援について	<p>国の調査結果によると、令和６年度の小・中学校の不登校児童生徒数が引き続き増加し、過去最多を更新した。すべてのこどもたちの育ちと学びを保障するため、教育行政による不登校のこどもたちと保護者への支援強化について伺う。</p> <p>（１）不登校の現状について ①向日市では、年間３０日以上、９０日以上不登校の児童生徒は、それぞれ何人か。</p>		

	<p>②学校や所属する学級に來れない児童生徒が利用している施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 出席日数にカウントされる施設について b. 不登校児童生徒のうち、これらの施設を利用していない人数は？ <p>③不登校の相談機関・専門支援機関について</p> <p>(2) 不登校の当事者・関係者（子ども・保護者・支援者）からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①校内教育支援センター（別室）を、すべての小中学校で継続強化する見通しについて ②ひまわり広場の拡充について ③保護者・子どもへの積極的な情報提供について ④ネット出席制度について <p>(3) 不登校のこどもの、中学卒業後の支援について</p> <p>(4) 教育支援センターの施設を整備することについて</p>
<p>3. 古紙類の回収率向上にむけた取り組みについて</p>	<p>向日市は、近年古紙類の資源回収に積極的に取り組み、徐々に成果を上げてきています。市民の要望に更に応えるための次のステップについて伺う。</p> <p>(1) 古紙類の資源回収の現状評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和6年度までの古紙類の資源回収実績、回収率についてどう評価しているか。 ②令和7年度の現時点での状況と評価について <p>(2) 次のステップについての考えを聞く</p> <p>市民の要望に応え、古紙を出しやすい環境整備が回収率の向上につながると考えます。以下のような方策が考えられますが、いかがでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集団回収箇所マップを作成し、市民に周知する。集団回収に参加している団体にとっても、助成金のメリットが大きい。 ②月2回の分別ステーション（すべてでなく一部でも）に、古紙類の分別ボックスを設置する。そのため協力頂ける箇所には助成する制度も検討する。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1、本市の小中学校の運営について	<p>1、第2向陽小学校の改築事業について</p> <p>① 第2向陽小学校の建て替えにあたり、子どもやPTAや保護者、教員、地域、学校関係者の声や希望を聞き、どのような形で反映されたのかなど途中経過の詳細を、いつ頃示してもらえるのか見通しを伺う。</p> <p>② 完成までの水泳授業をどうするのか、市民温水プールを活用する場合の水泳授業の行き帰りの方法はどうかなど、検討は進んでるか伺う。</p> <p>③ 体育館は、道を横断しないで移動できる場所に建設することが望ましい、この機会に是非実現させることについて伺う。</p> <p>④ 今後も、子どもや保護者、教員など、いつの時点まで市民の意見が反映できるのか伺う。</p> <p>2、児童生徒の安心・安全な学校生活について</p> <p>お隣の長岡京市でも教師による盗撮事件が発生するなど子どもが巻き込まれる事件が報道され大きな衝撃を受けた。本市は当事者ではなく、真面目に熱心に仕事をしておられる大多数の教師の皆さんには大変迷惑で残念な事件だと思うが、社会全体として、なによりも子どもの権利と安全が脅かされることがないよう、子どもたちに安心して学校生活をおくってもらえるよう、対策を講じることが必要であると考えます。</p> <p>① 本市の児童生徒や保護者の中に、心理的な不安や心配の声などはあったか伺う。</p> <p>② 本市の小中学校の更衣室設置の状況を伺う。</p> <p>③ 本市が、何か対策を講じておられること、または、今後考えている対策について伺う。</p> <p>3、小中学校の体育館空調設備の使用基準について</p> <p>現在、夏季の小中学校の空調設備の使用は、28度から使用されると聞いている。基準は、暑さ指数（WBGT）で、「厳重警戒」28度～31度にならないよう使用されている。子どもたちの健康を守るためにも「警戒」25度～28度レベルから使用するようにはできないか、市の見解を伺う。</p>		

<p>2、こども誰でも通園制度について</p>	<p>こども誰でも通園制度が、2026年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として全国の自治体において実施される。</p> <p>本市でも今議会に上程されている条例に加え、3月には運営基準を定める条例が策定される。市の実施に向けての見解について伺う。</p> <p>1、2025年度は京都市と宇治市が、国の制度試行実施事業に参加されている。そうした先進自治体での保護者のニーズや評価、実施施設、保育士の意見や評価や改善点などについて伺う。</p> <p>2、利用者と事業者の直接契約になること、慣れない場所での子どもへの負担、保育現場への新たな負担になりうること、利用時間（上限10時間）が短い、人員配置が不十分なことなど様々な懸念が考えられるが、市としての対策について伺う。</p>
<p>3 来年4月から実施される給食無償化などについて</p>	<p>1、来年4月から無償化が開始されることは現実になったが、現在、向日市においての実施にむけての進捗状況を伺う。</p> <p>2、小学校の給食無償化は実現する今だからこそ、中学校での同時無償化を、向日市で国に先駆けて行い、国による早期実施の後押しをしていただきたいがいかがか。</p> <p>3、他市では給食費の引き上げがされているが、本市では、3年間据え置きとし、保護者の負担軽減に寄与され喜ばれている。中学校無償化が無理であれば、来年度からも引き続き給食費を据え置きのままにすることについて見解を伺う。</p> <p>4、向日市での給食は、安心安全な給食、心のこもった手づくり給食、旬や伝統食・行事食を大切にして給食が作られている。</p> <p>現在の案では、さまざまな実態調査を踏まえて、月4,700円程度を基準として設定して支援をしていくとのことであるが、質や量共に安全で豊かな学校給食、小学校での自校給食などの継続が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p>

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本 みゆき	所属会派名	日本維新の会・無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1.職員の働き方改革と業務効率の向上について	<p>少子高齢化や人口減少が進む中で、行政需要は多様化・複雑化しており、限られた職員体制の中でいかに生産性を高め、市民サービスの質を維持・向上させるかが、今後の自治体運営における大きな課題であると考えます。そのためには、職員が安心して働き続けられる環境整備と、柔軟な働き方の導入、そして民間の優れた仕組みも取り入れながら、魅力ある職場づくりを進めていくことが重要であると考え、伺う。</p>		
（１）東向日別館から本庁舎までの移動の効率化について	<p>現在、本市の業務の状況を見ると、会議やミーティングのため等に別館と本庁舎間の移動を徒歩で行っている職員が多く見受けられる。</p> <p>短距離とはいえ、繰り返しの移動が積み重なることで、時間的なロスや職務効率の低下にもつながっているのではないかと感じています。</p> <p>例えば、寺戸公民館の旧館や用地の一部を活用して業務効率を図ることも一案ではないかと考える。庁舎間の効率的な移動手段の確保を含めた業務効率の向上について、市としてどのようにお考えか伺う。</p>		
（２）職員の働き方改革と人材確保の取組について	<p>近年は、待遇や働き方の柔軟性などにおいて「民間優位」とも言われる状況が生まれており、優秀な人材の確保・定着が自治体にとって大きな課題となっている。</p> <p>また、民間企業に負けない魅力的な職場環境の整備や、人材確保のための競争力を高める方策について、どのようにお考えかお伺いいたします。コロナ禍においては、庁内で一定の範囲内で勤務時間を柔軟に調整できるフレックスタイム勤務が可能であったと伺っている。こうした中で、多様な働き方が求められる時代において、職員一人ひとりのライフスタイルや家庭の事情に応じた勤務形態を認めることは、モチベーションの向上や離職防止にもつながるものと考えます。今後、条例化を含めたフレックスタイム制度の再開、または新たな柔軟な勤務制度の導入について、こうした中で、本市として、職員が働きやすく、かつ誇りを持って働ける職場づくりをどのように進めていくのか伺う。</p>		

表題	質問事項（質問の要旨）
２．竹林の環境整備について	<p>本市にとって竹林は、景観だけでなく観光の柱となっている大切な地域資源であり、加えて、筍は向日市を代表する特産品として地域の農業と経済を支えている存在である。近年の害虫被害や竹林環境の悪化は、観光面・農業面の両方に深刻な影響を及ぼしかねない問題として看過できない。</p> <p>また、竹の径は市を代表する観光名所であり、多くの来訪者が訪れる場所である。観光資源としての価値を守り、さらに発揮していくためには、安心して回遊できる環境整備も欠かせないと考え、以下伺う。</p>
（１）竹林の害虫対策について	<p>①薬剤分布機材の整備・支援について</p> <p>現在、地域や関係団体による防除活動も進められているが、地形的に急斜面が多い箇所等では、噴霧器などの手作業では薬剤が十分に行き届かない状況もあると伺っている。このような場所に対しては、より広範囲に薬剤を分布できる機材の導入が必要と考える。</p> <p>薬剤分布のための機材の貸し出しや薬剤の補助等の支援、または防除作業を業務委託する場合の補助などについて、市としてどのように検討されているのか伺う。</p> <p>②たけのこの収穫への影響と今後の課題や見通しについて</p> <p>害虫被害が今後のたけのこの生産量に与える影響については、農家の皆様の間でも大きな不安が広がっている。こうした被害の現状把握や、収穫への影響に関する分析、また薬剤散布を行う際に、健康や環境への配慮をはじめ、近隣の土地所有者や管理者の理解と協力などが必要になると聞く。今後の課題や見通しについて、市としてどのように把握・対策を講じていかれるお考えか伺う。</p>
（２）竹の径の道案内表記について	<p>①観光名所としての魅力向上と、安全で快適な歩行環境の確保のためにも、現地における道案内表記の増設や内容の改善についてご検討いただきたいと思います。ついては、竹の径周辺における道案内表記の整備について、今後どのように取り組んでいかれるのか、本市のご所見を伺う。</p>

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	天野 俊宏	所属会派名	自民クラブ
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. ハラスメントに関する条例制定について	<p>ハラスメントに関する条例制定について伺う。</p> <p>1. 本市においてのハラスメントに関する条例について制定すべきではないかと考えるが所見を伺う。</p> <p>2. 検討中であるなら、検討状況についても伺う。</p>		

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野 直次	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
1、物価高からくらしを応援する対策について	<p>① くらしを支援する水道料金減免について伺う。市は毎年のように上・下道料金基本料金の減免で4億9,100万円実施をされてきたことは大いに評価する。来年度予算においても引続き料金減免し市民の生活応援することについて伺います。</p> <p>② 過去5年間の比較を見ても異常な料金値上げによる被保険者の医療費負担は限界。R7年度標準保険料率の所得割が医療費分9.9%と2.2ポイント(%)もの値上げ、均等割、平等割おいては1万円と5,000円値上げとなった。保険料引き下げの対策・検討をすることに対する認識と次の国保事業運営協議会の開催予定について伺う。</p> <p>③ 阪急東向日駅周辺の賑わいづくりと活性化について。市内の中心部が空洞化しているような状況を食い止め、東向日駅周辺が市の玄関口となるよう賑わい、買い物の便利な元のようなイメージを市民に説明することについて伺う。</p> <p>④ 駅前西側のポケット公園(市有地)のありかたについて。最近2つのベンチに照明器具と防犯カメラが設置されたが、完成した公園ということなのでしょうか。市として公園の位置づけと土地利用について見解を求めます</p>		
2、新寺戸公民館に調理室などをつくることについて	<p>① 用地取得から文化財調査発掘、設計・完成までの予算獲得にご苦労されたことが多々あったかと存じますが、災害時等の避難所としての機能と役割について市の見解を伺う。</p> <p>② 市民からの要望で「調理室」を期待されているが計画・検討はどうか伺う。その計画しなかった理由は。同じく「和室」を是非設置してほしいと関係者ら要望されているが市民要望に応える設計変更可能性について見解を伺う。</p>		

	<p>③ 今の寺戸公民館内の市民の活動拠点になっている市民協働センター「かけはし」の利用については先の利用者アンケートからの結果からも、今まで通りサークルや自治会等登録団体からは印刷機などよく使用され喜ばれていますのでしっかり使えるようにすることについて伺う。</p> <p>④ 今後新寺戸公民館が完成したのち、現在の寺戸公民館の管理運営と利用・検討について伺う。旧の寺戸公民館の名称の変更はどのようにされるのか伺う。</p>
<p>3、ぐるっとむこうバスのさらなる充実について</p>	<p>この間において民間交通バス路線事業は乗客数の減少や運転手さん不足を理由でバス路線の縮小・撤退がありました。もはや民間バス事業だけでは市民の足を確保できない事態となっています。</p> <p>① ぐるっとむこうバス利用される方で70歳以上の方の運賃割引制度を早期に実施されるよう予算措置について伺う。</p> <p>② バスの右周りの運行と土日祝祭日運行ができるように取り組んでいただきたい。再度市の見解を伺います。市の南西部地域から市役所に来る右回りを再度検討できないか伺う。</p> <p>③ 府道に係わることですが、府乙訓土木事務所で担当されている、阪急西向日駅前のバスロータリー設置の進捗について伺う。</p>

一般質問通告書(総括)

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項(質問の要旨)		
1. 人生 100 年時代に向けて	<p>人生 100 年時代に向けて、人々の働き方、生き方、教育、社会保障の見直し等社会は大きく変わろうとしている。社会の変化に対応していくために、自治体ができることをお聞きする。</p> <p>政府は令和 8 年度より、小学校の給食費の無償化を実施する方針を示している。 詳細な制度設計は未定だが、本市では無償化に向けた情報収集、準備をされているのかお聞きする。</p> <p>社会人の「学び直し」の支援について本市の考えをお聞きする。</p> <p>100 歳まで生きるには、健康寿命を延ばすことが重要であるが今後の取り組みをお伺いする。</p> <p>国土交通省が進めている、「人生 100 年時代を支える住まい環境整備モデル事業」は、高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが安心して健康に暮らせる住環境の整備を促進するため、ライフスタイルに応じて変化する居住ニーズに対応したモデル的な取り組みを実施する民間事業者等を公募し、支援する事業である。 市内でこの住まい環境整備モデル事業を行っている事業者はあるのかお聞きする。</p> <p>国土交通省が提唱しているように、人生 100 年時代に生活習慣に応じた住環境の整備が必要と考えるが、本市の見解をお伺いする。</p>		

<p>2. 高次脳機能障害者への支援について</p>	<p>国会では、超党派で「高次脳機能障害者の支援に関する法律」の制定を目指し、検討が進められている。</p> <p>法律の制定によりさらに自治体の役割が重要になってくる。</p> <p>高次脳機能障害は、生まれながらにして持っている先天的な障害ではなく、交通事故や脳梗塞などで脳に何らかの損傷を受け、日常生活に支障をきたす障害のことである。</p> <p>議員立法により目指されている高次脳機能障害に関する法律は、高次脳機能障害者を包括的に支援するため、医療から地域生活、社会参加まで関係機関が連携する仕組みづくりを提言している。</p> <p>本市においても京都府リハビリテーション支援センター等福祉・医療機関との連携について、対応を伺う。</p> <p>介護保険制度が定める特定疾病によって、高次脳機能障害となった第2号被保険者(40歳以上65歳未満)の要介護認定者は、障害福祉サービスを受けることができるのかお伺いする。</p>
----------------------------	---

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	長谷川 愛	所属会派名	日本維新の会 無所属の会
表題	質問事項（質問の要旨）		
1. 向日市の道路環境と安全対策について	1. 御陵山崎線（府道西京高槻線）の拡幅工事において今後どのように歩行者と自転車道路を整備されるのか伺う 2. 本市道において今後自転車の整備や対策を進めていくのか伺う		
2. ぐるっとむこうバスの介助が必要な方と支援について	1. 介助者に対して運賃割引制度を導入していただけないか伺う 2. ぐるっとむこうバスの今後どのような交通政策・福祉施策と連携した取り組みを考えられているのか伺う。		